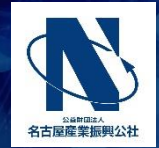




# コスプレで地域活性化

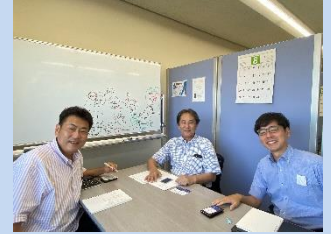


業種 コスプレイベント運営、保険代理店  
 代表 小川博樹  
 住所 名古屋市中村区井深町 1-1  
 新名古屋センター2-208

## ・事業者の概要

同社は2011年7月に創業。『麗 Yer's®セクション』との名称で、全国のコスプレイヤーを会員組織化し、コスプレイヤーから会費をもらい、全国で撮影イベントの会場手配から運営までを行っている。近年コスプレが市民権を得る一方で、運営不手際やコスプレイヤーとの近隣トラブル、過激すぎる衣装による地域のモラル低下等の問題も増えてきた。同社はこうしたトラブルが起きないようにコスプレイヤーと地域が共存できるルール化や衣装チェック等を厳しくした運営を行ってきた。

## 相談時の様子



## 新サービス「元気コスプレ+ONE」

コスプレで地域を活性化  
 「元気コスプレ+ONE」  
 サービス開始のお知らせ  
 コスプレイベント  
 おまかせワンストップサービス

元気  
 コスプレ+ONE

## プレスリリース後

毎日新聞に  
 掲載されました

(令和6年  
 1月1日朝刊)

## ・表面化している課題

コスプレイヤーの活動を全国的にリードしてきたが、コスプレイヤーが市民権を得るにつれ、イベント単価が下がってきていた。コスプレイヤーはコスプレ衣装などに相当の費用をかけていることから、会費が安価なイベントに集まる傾向があり、同社が長年進めてきた質の高いコスプレイベントにコスプレイヤーがその費用を負担することができなくなる状況が生まれつつあった。同社の実績が悪化し、コスプレはもうやめようと思うとの相談が最初だった。

## ・支援者の分析と判断

同社は今までコスプレイヤーから収益を受け取る方法を行ってきたが、むしろ質の高いマナーが優れたコスプレイヤーには、お金を支払っても良いのではないかと考えた。時代の変化に合わせて同社の立ち位置をどう変えるべきか？について議論を行った。

## ・課題解決への提案

ノウハウが無いけれどイベントに関心が高いニーズが行政組織には潜在するだろうと考えた。コスプレイヤーの選定や管理には同社の今までのノウハウがあり、その安全性が行政組織での不安を払しょくできることから、そのノウハウは強みとなると確信した。

コスプレイヤーから売上を獲得するよりも、コスプレを地域活性化の軸として位置づけることを提案した。今までコスプレイヤーはお金を払う立場だったのが、むしろ受取る立場に転換できる。コスプレイヤーの情報発信力は地域活性化に大きな効果を発揮する。このパッケージ化を検討した。

## ・実行内容

10月に名古屋経済記者クラブで紙媒体でのプレスリリースを行った。毎日新聞の愛知県版の記事に係る取材を受け、1月1日の特集記事が掲載となった。

## ・成果と今後の進め方

同記事の掲載によって、事業の連携先が広がり、問い合わせもあった。年明けもNHK等からも取材を受けるなど対外的な評価は高まっている。来年度に向けて行政向けの企画提案やプロポーザル参加等も進めていくが、一方で運転資金の課題もあり、引き続き支援したい。



## 事業者さんの声

コスプレイヤーの価値は高いことはわかってきたものの、彼らを地域活性化の軸にするという考え方は思いつかなかった。

現在依頼が来ている行政や大企業からの案件も地域活性化が目的であり、自社の価値に自信が持てるようになった。今後の事業展開にワクワクしている。

(公財)名古屋産業振興公社 名古屋市新事業支援センター

〒464-0856 名古屋市中村区吹上二丁目6番3号 名古屋市中企業振興会館5階 TEL:052-735-0808 FAX:(052)735-2065

無料の  
 窓口相談

右の二次元コードリンク先の申込フォームページから必要事項を入力し、お申し込みください  
<https://ws.formzu.net/dist/S27720287/>